

株式
会社 **エー・アンド・ティ**
(証券コード：7745 東証1部)

AND
Discover Precision

2022年3月期第1四半期 決算説明資料

2021年8月5日



高精度計量センサー
AD-4212A

2022年3月期第1四半期業績の総括

2022年3月期第1四半期業績ハイライト



売上高：前年同期比 117.8%

営業利益：前年同期比 392.3%

営業利益は計測・計量機器事業が対前年度倍増

■要因

- **計測・計量機器事業：経済活動の回復から設備投資が動き需要回復**
- **医療・健康機器事業：健康機器は昨年度から引続き堅調に推移
病院・施設等の設備投資が動き医療機器も好調**
- **新規顧客・新規市場開拓と原価改善・販管費削減活動の継続により収益力を強化**

2022年3月期第1四半期業績の概況



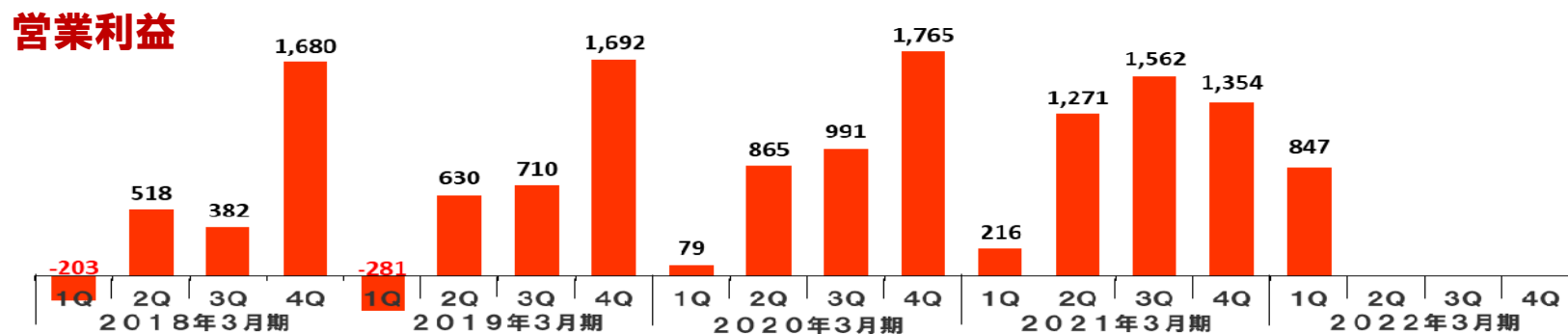
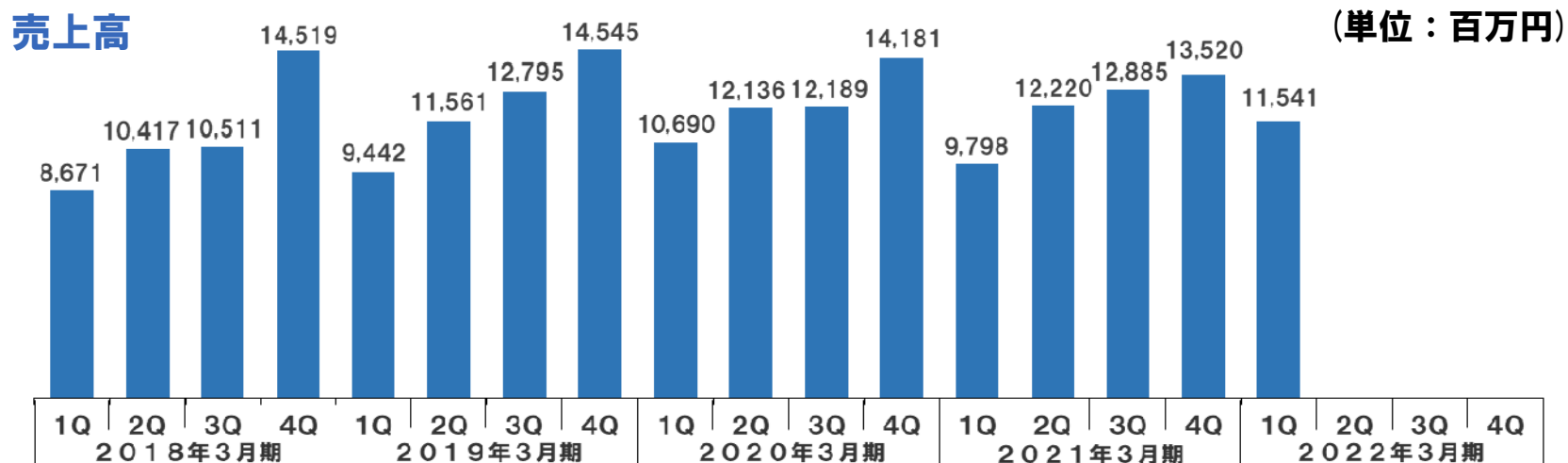
(単位：百万円)

連 結 損 益	2021/3期 第1四半期(実績)	2022/3期 第1四半期(実績)	前年同期比	2022/3期 業績予想	達成率 (業績予想比)
売 上 高	9,798	11,541	117.8%	50,000	23.1%
売 上 原 価	5,486	6,329	115.4%	27,970	22.6%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,486	4,364	79.5%	17,830	24.5%
営 業 利 益	216	847	392.3%	4,200	20.2%
経 常 利 益	277	956	344.9%	4,020	23.8%
税 引 き 前 利 益	277	957	345.4%	4,020	23.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	83	570	684.0%	2,552	22.3%
1 株 あ た り 四半期純利益(円)	4.04	27.64	684.0%	123.71	22.3%

四半期別売上高および営業利益の推移



売上高・営業利益共に対前年大幅増、収益体質の改善継続
2020年3月期実績に対して売上高108.0%、営業利益は10倍増

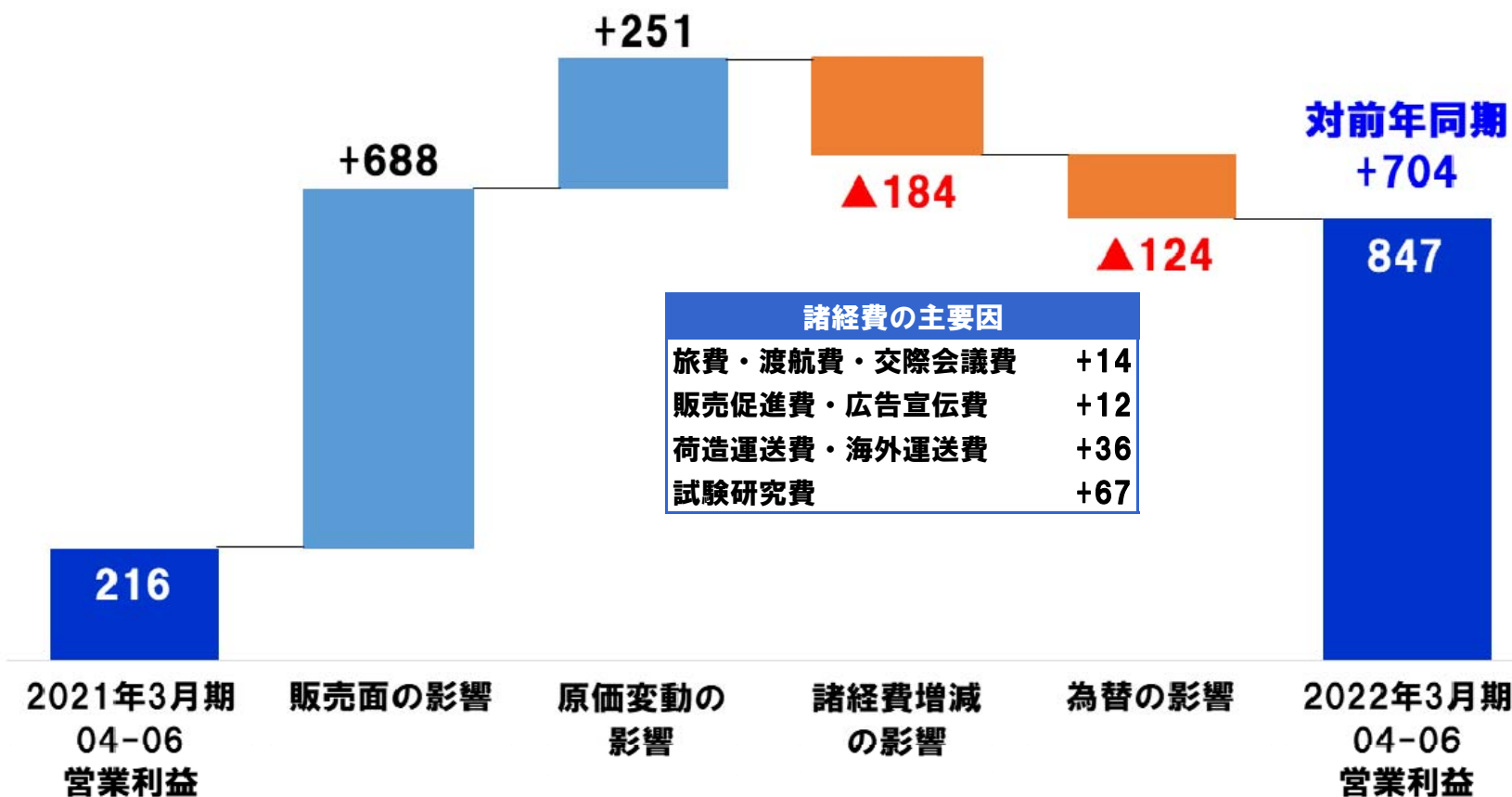


営業利益増減要因（前年同期比）



売上高増加が大きく寄与，諸経費は経済活動の回復により増加するも一昨年度同期実績は下回る

(単位：百万円)

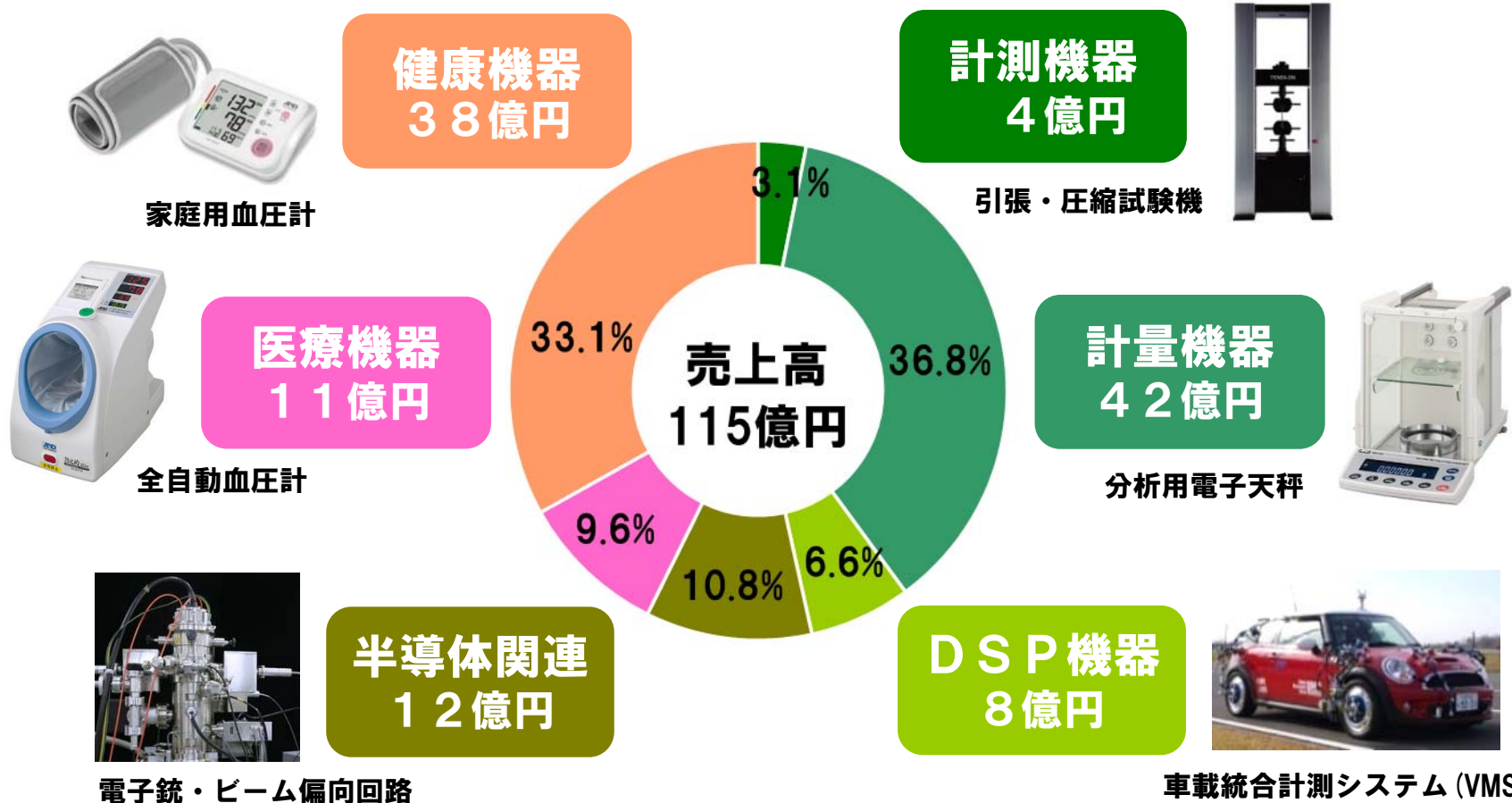


2022年3月期事業別売上実績



医療・健康機器事業

計測・計量機器事業



※DSP：計測・制御・シミュレーションシステム

セグメント別業績の概要



(単位：百万円)

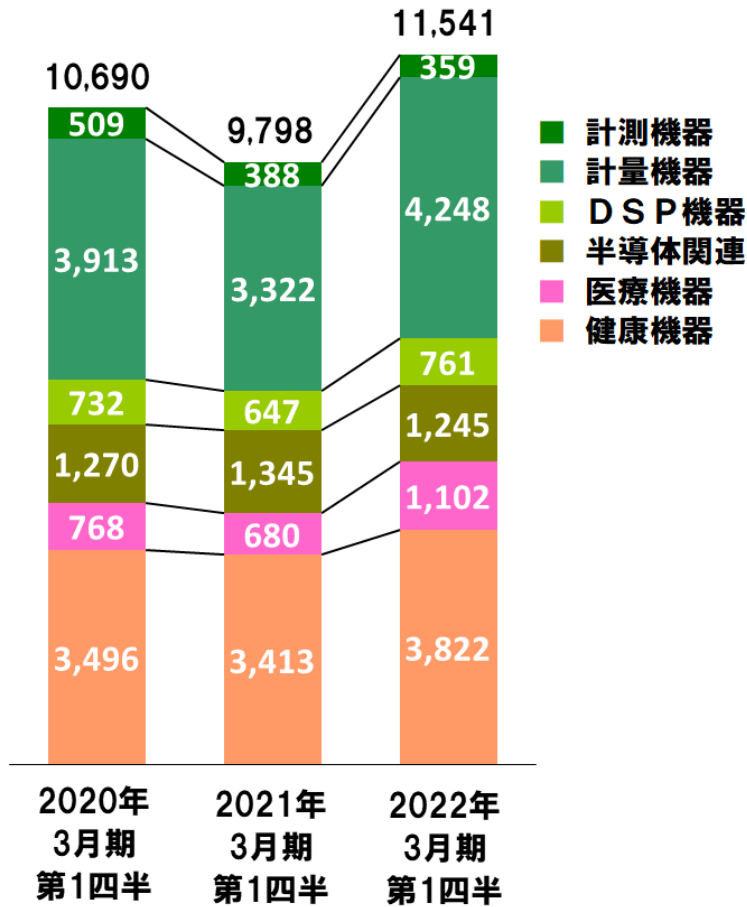
連 結 損 益	2021/3期 第1四半期 (実績)	2022/3期 第1四半期 (実績)	前年同期比	2022/3期 業績予想	達成率 (対業績予想)
売 上 高	9,798	11,541	117.8%	50,000	23.1%
計測・計量機器	5,704	6,615	116.0%	29,400	22.5%
医療・健康機器	4,094	4,925	120.3%	20,600	23.9%
売 上 原 価	5,486	6,329	115.4%	27,970	22.6%
計測・計量機器	3,117	3,669	117.7%	16,975	21.6%
医療・健康機器	2,066	2,757	133.4%	10,995	25.1%
販 管 費	4,096	4,364	106.6%	17,830	24.5%
計測・計量機器	2,392	2,524	105.5%	9,870	25.6%
医療・健康機器	1,305	1,447	110.9%	6,240	23.2%
営 業 利 益	216	847	392.3%	4,200	20.2%
計測・計量機器	194	421	216.8%	2,555	16.5%
医療・健康機器	721	720	99.8%	3,365	21.4%
全 社 / 消 去	△ 699	△ 294	----	△ 1,720	----

事業別実績



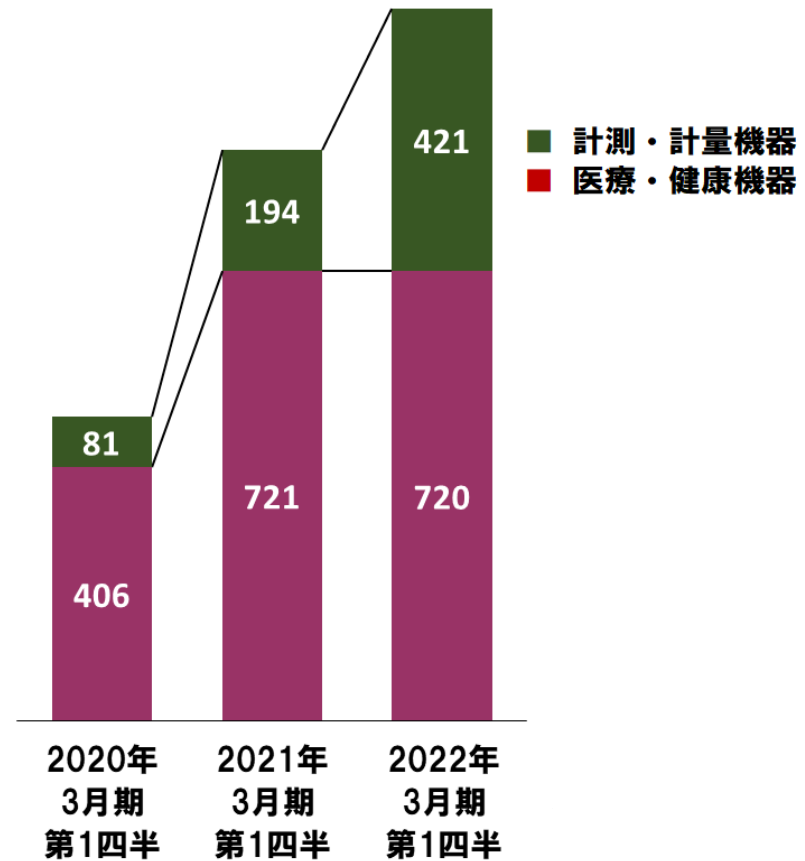
計測・計量機器事業は回復基調・医療・健康機器事業は堅調推移

売上高



事業別営業利益

(単位：百万円)



注) DSP:計測・制御・シミュレーションシステム

注) セグメント利益調整前

事業別動向



計測・計量機器	計測機器	計測機器は依然苦戦を強いられているが、計量機器は経済活動の正常化への流れのなかで需要を回復
	計量機器	米州・豪州での金属検出器・ウエイトチェツカのほか、各製品・各地域で需要が回復し売上増加
	DSP機器	前上期は受注活動が制約されたが、下期から制約が緩和され受注が回復基調に EV関連の引合の増加も継続、引続き受注獲得へ注力
	半導体関連	世界的半導体供給不足に伴う旺盛な設備投資意欲と更なる微細化要求へ対応することで中長期的需要の獲得を目指す
医療・健康機器	医療機器	医療機関・介護施設等の設備投資回復を受け、医療用計量器を中心に伸長、売上は大きく増加
	健康機器	日本では家庭向血圧計が堅調に推移、米州では大口案件の継続、欧州（ロシア）の需要回復等々、引続き好調を維持しているが、各国・各地域の経済活動の回復及び米国向けのコンテナ不足によるエア－便での輸送の増加等により経費が増加

AND
Discover Precision

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。